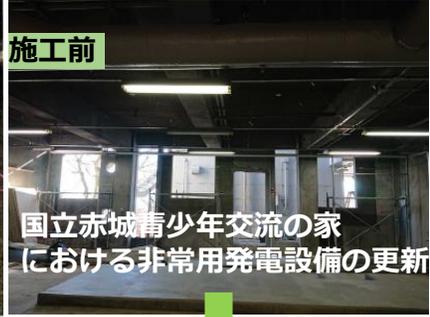


施設のライフラインを機能強化し、有事の際の利用者・避難者の安全を確保する（福島県耶麻郡猪苗代町、群馬県前橋市、熊本県阿蘇市）

ボイラー設備の更新
(避難所として安定的な熱源の確保)

受水槽の増設
(3日分の生活用水の確保)

非常用発電設備の更新
(避難所として必要な電力の確保)



対策名：17-1 国立青少年教育施設の防災・減災への対策



主たる施策グループ： 2-3) 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生 教育・文化等

事業名： 国立青少年教育施設の広域防災補完拠点化に必要なライフライン機能強化整備

- ポイント**
- 国立青少年教育施設のライフラインの機能強化を実施
 - 安定的な熱源、生活用水、電力を確保し、避難所および広域防災補完拠点として地域に貢献

地域の概要・課題

近年、大規模災害が頻発しており、被災した自治体だけでは対応が困難な状況です。そのため、有事の際に国立青少年教育施設が地域住民の避難所、広域防災補完拠点としてその役割を果たすことが重要でした。

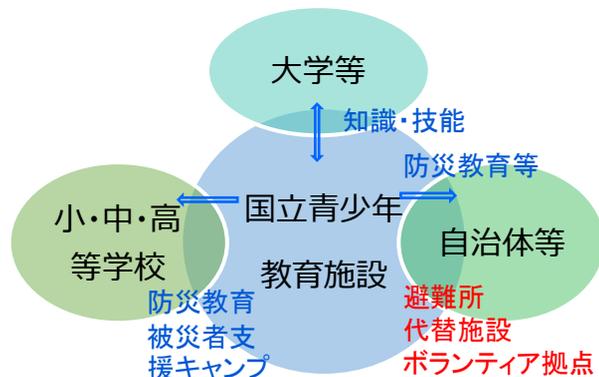
災害時に利用者の安全を確保し、その役割を果たせるよう、国立青少年教育施設のライフライン機能をより強化する必要がありました。

事業の概要

有事の際に利用者の安全・安心を確保し、自治体の境界を超えた「広域防災補完拠点」として災害に対応するため、国立青少年教育施設（3施設）のライフラインの機能強化整備（ボイラー設備の更新、受水槽の増設、非常用発電設備の更新）を実施しました。

見込まれる効果

- ・災害時に被災した自治体だけでは対応が困難である状況を解消します。
- ・飲料用の受水槽を設置したことから、有事の際の利用者の飲料水を確保することができます。
- ・避難者・災害ボランティア等の受け入れをはじめ、自治体の境界を超えた「広域防災補完拠点」としての役割を果たします。



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策
(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積の高度化